

養老孟司

(解剖学者)

好きなことを思いっきりできることは素敵だ。

私の場合は、虫捕りだが、それは、自己啓発できる最高の瞬間なのだ。



知的障がいのある日本人の少年2人がアメリカの家庭にホームステイしたさまをユニークな視点で描いた映画「able/エイブル」('01)で毎日映画コンクール記録文化映画賞を受賞以来、知的障がいのある人々に寄り添ったドキュメンタリー作品を数多く発表している小栗謙一監督の最新作が遂に登場！製作期間4年、総移動距離12万キロ。日本国内を始めフランス、ドイツ、スウェーデンと世界各地でパワフルに活動し社会参加を成し遂げているチャレンジたちの日常を心優しく映像にすくいとった本作は、見るものを勇気づけ、真のインクルージョン(包み込む共生社会)とは何かを考えさせてくれるヒューマン・ドキュメンタリーの傑作です。



ロードムービーのように旅するカメラが、自立への道を生きるチャレンジたちの清々しい姿を写す！

本作最大の見所は、2012年公開の『幸せの太鼓を響かせて～INCLUSION』で彼らを撮影した後も8年間に渡り監督が成長を見守ってきた長崎の和太鼓演奏集団 瑞宝太鼓の魂を揺さ振るパフォーマンスです。チャレンジたちで構成されているこのグループが、フランスのナント市で開催された文化交流芸術祭に参加し、現地で一大センセーションを巻き起こした感動のステージは、圧巻のひとつ！さらにカメラは、プロとして活躍するフランスのヒップホップ・グループ、アーティピックやベルリンを拠点にアグレッシブな演劇活動をしているランバ・ツァンパのメンバーの日常を追い、障がいのある身でありながら自らの手で国会議員を目指すスウェーデンの女性にも目を向けていきます。また、ユダヤ人のホロコースト以前からヒトラーの命令のもと密かに実行されていたナチス・ドイツによる障がいのある人々などへの殺りく(後にT4作戦と呼ばれる)の恐るべき実態も綿密に取材。現代社会においてもなお残る“障がいのある者は、生きる価値がない”という間違った考え方の源流を考察しています。

パリのモデルとして注目を浴び、異色のタレントとして活躍する栗原 類がナレーションに初挑戦。劇中にも登場する日本を代表する小林研一郎の指揮によるベートーベンの交響曲の数々が、映画に深い印影を与えています。

● 協力団体 関連企画のお知らせ ●

勤労障がい者長崎打楽団

「瑞宝太鼓」演奏会

2025年3月22日(土)

那珂湊総合福祉センター(しあわせプラザ)にて開催!!

主催: NPO ゆめBOX 茨城

共催: 生活介護事業所やまとあい

詳細は下記メールへ問合せください。

Mail: npo.yumebox.ibaraki.no1@gmail.com

障がいのある人たち

チャレンジの 過去に思いを馳せ 現在を見つめ 未来に希望を託す 傑作ドキュメンタリーの誕生!

この映画は、数々のボランティア活動をつづけ、本作でも製作総指揮をとった細川佳代子(元首相 細川護熙氏の夫人)と、able映画製作委員会代表の近衛南子両氏のもと、本作の企画意図にご賛同いただいた約700名余の方々のご寄付で製作されたものです。今後さまざまな場所における上映活動を通して、世界中のチャレンジたちを応援してまいります。

製作総指揮: 細川佳代子 | 監督: 小栗謙一 | 製作: able映画製作委員会 代表: 近衛南子 | 語り: 栗原 類
音楽指揮: 小林研一郎 | 太鼓指導: 時勝矢一路 | 太鼓演奏: 瑞宝太鼓 | L.プロデューサー: 花井ひろみ
配給: ableの会 (info@film-able.com) | 製作・配給協力: ディレクターズシステム
2020年作品 | 日本 | ドキュメンタリー | 90分 | カラー | 5.1ch | DCP
©2020able映画製作委員会 <http://dsystem.jp>

前売券 1,200円 発売予定日/1月17日～(販売所により発売日が異なる場合があります。)

(当日券/一般:1,500円、高校生以下:800円、悠悠映画塾会員は1,100円)

前売券販売所 ザ・ヒロサワ・シティ会館、ひたちなか市文化会館、デジタルチケット

【前売券予約電話番号】茨城映画センター内: 090-2641-3156

(土・日・祝日を除く 午前10:00～午後5:00)

●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控えいただきますようお願いいたします。またご入場の際等、適宜手指の消毒にご協力をお願いいたします。

チラシ持参で一般当日券1,300円で鑑賞出来ます。

PassMarket



※デジタルチケットは、上記の二次元コードより購入できます。

Challenged